



# A to Z

面白くてためになる A から Z までの 院内情報誌

## 復刊 第 1 号

発行 2013 年（平成 25 年）1 月

編集者 医療法人社団尾崎病院 編集委員会

### 発刊（復刊）に寄せて

すべてを包括する、最初から最後までなどを表す「A to Z」は、石谷元事務部長の命名により、岡島課長、山根検査科長が編集責任者として平成 12 年に発刊されました。

当院が目指す胸上げ型医療（患者を全職員で支える）のための情報誌になれば幸いです。

この 30 年はあらゆることに挑み、挫折し、発展して来ました。練習試合は終わりました。これからが本当の挑戦です。（代表 尾崎健一）



### 発刊（復刊）に寄せて



あれは大学生のころでしょうか。  
自宅のテーブルの上に「A to Z」。何の気なしに手に取り開いてみる。  
楽しそうな写真。職員の紹介。おもしろそう。

40 歳になってその冊子に関わるようになるとは。  
うーん、感慨深い。（理事長 尾崎舞）

### 発刊（復刊）に寄せて

平成 14 年 4 月、本院に就任時、「A to Z」に挨拶文を掲載していただき、思い出の院内誌です。副題として「面白くて為になる A から Z までの院内情報誌」があり、すべての職員が情報を共有することが主旨です。編集委員が勤務時間外に作成していると聞き、感心しました。しばらく休刊になっていましたが、復刊することになり、たいへん喜ばしいことです。

この院内情報誌により、職員全員が一段と認識を密にして、更に楽しい職場となり、医療レベルがアップすることを願っております。（院長 植木壽一）



# 新年のご挨拶

理事長 尾崎舞

今年で理事長になって三年目となります。一年目は、尾崎病院がガラッと変わってきてグッと伸びた一年だったと思います。昨年は、それが安定し尾崎病院のカラーがかなり出来上がり、皆のモチベーションもアップしてきたと思います。

「今年はどうな年にしようか」と考えた時に、もう一段“質”を高めていきたいと思っています。一つに、看護・介護において知識の面ではなく、患者さんとの接し方、例えばおむつ交換や処置において私語(笑い声など)が無いかについて、徹底して無くしていくことで一歩前進できるのではないかと思います。また、処置などを行う際に「〇〇をしますよ」と足元からではなく、その人の目を見て伝えることや、置く必要が無いのに患者さんの体の上に材料などを置いて処置をしていないかを徹底して無くしていきたいと思っています。こうしたことを昨年一年間ずっと感じていました。

今年はそのいったことに取り組み、12月にもう一回来院された患者さんから「前回は変わったと感じたけど、今回また何か違うよね」と言ってもらいたいです。もっとピリツとした患者さんへの接し方を、皆が常に心掛けるような方向に進みたいと思います。

もう一つは、医療においては市中病院からリハビリや行き先が無い方の受け入れをしていますが、もう一つ広げて県中・日赤でなくてもできる治療については、「尾崎病院で受け入れます」と手を挙げて施設から受け入れていきたいと思っています。そのためには、医師も含めてスタッフがいません。

私はこの一年を掛けて、そういう医療を支えていくために医師の確保を目指そうと思っています。私達と同じ思いの医師が沢山いれば、その人の人生を丸ごと尾崎病院は支えることができますし、例え終末期であろうと、行き先が無かろうと必ず良い人生を送って頂く自信がありますので、そういう方向を目指したいと思っています。

今年も張りきって頑張りますので、また一年よろしくお願ひします。

病院長 植木壽一

皆さん楽しくお正月を過ごされたことと思います。今年巳年ですので、巳(蛇)についての話題を紹介します。

ご存知の方もありますが、日本医師会のバッジは逆三角形を蛇がかたどっています。そのことから、医学と蛇の関係は想像が付くと思います。今から22年位前にヨーロッパの病院を視察したのですが、ドイツの病院では病院の柱に蛇の彫刻がありました。他にも蛇の話題はあると思いますが、そもそも蛇の出典は古代ギリシャの神話からのようです。神話の中の一人で、アスクレピオスという医術の神様がいて、持っている杖に蛇が纏わりついていました。何処かで疫病が出れば、そこに蛇を遣わせて疫病を治めたり、しばしば起死回生の術を使って助けたということがあり、世界的に蛇が非常に大切に



日本医師会の紋章

にされているようです。

また、蛇は脱皮を繰り返すので若返るということと、不死身・長生きということで神聖な動物とされたようです。ただ医術の神様の杖に纏わる蛇は、serpent(大蛇)とあり普通の蛇は snake ですので、本来は大蛇で神話には非常に太い蛇が書かれています。要するに、今日でも医学・医術の象徴です。

そういうことで今年巳(蛇)年ですので、大いに脱皮して皆さんも若返って医学・医術に貢献して頂きたいと思っています。



アスクレピオスの杖の蛇

Asklepios, god of Medicine. He is carrying his staff with the serpent, symbol of Medicine even today  
Athens National Museum

# 尾崎病院 30年のあゆみ

- 昭和57年 6月 尾崎外科医院 開院  
(診療科5科、病床数19床、職員12名)
- 58年 9月 透析センター 業務開始  
(ベッド数3床)
- 61年 7月 夜間透析 業務開始  
(週3回、ベッド数10床)
- 62年 4月 尾崎外科医院を医療法人社団尾崎外科診療所として法人設立登記
- 平成 3年10月 新築工事竣工、医療法人社団尾崎病院として設立登記  
(診療科7科、一般病棟50床、透析20床)
- 4年 4月 人間ドック 業務開始
- 7年 6月 一般病棟10床増床 計60床
- 10月 一般病棟15床増床 計75床
- 10年 6月 療養病棟44床 新設  
一般病棟10床増床 計85床 総病床数129床
- 11月 療養病棟16床増床  
一般85床、療養60床 総病床数145床
- 12年 1月 療養病棟27床増床、一般病棟25床を療養へ転換  
療養112床、一般60床 総病床数172床
- 4月 介護病棟26床 開設  
リハビリテーション科 新設
- 7月 病床変更 介護病棟52床  
一般60床、療養60床、介護52床
- 13年 6月 リハビリテーション棟 完成
- 7月 通所リハビリテーション 開設
- 9月 居宅介護支援事業所 開設
- 14年12月 介護病棟8床増床  
一般60床、療養60床、介護60床 総病床数180床
- 18年 5月 マンモグラフィ機器導入
- 19年11月 訪問リハビリテーション 開設
- 22年10月 回復期リハビリテーション病棟27床 開設
- 23年 9月 訪問マッサージ 開始
- 24年 9月 訪問看護ステーションおざき 開設  
亜急性期病床4床 開設



昭和57年6月1日 スタート



昭和58年8月 院内旅行



昭和62年5月 尾崎健一代表



昭和62年5月



平成3年10月



舞理事長 大学1年生

# 舞理事長の頭の中なう

最近の私の頭の中は「私のゴールはどこだろう」だ（創刊号にもかかわらずゴールの話って・・・）。ゴールといえは最終点。なにをもって自分の人生よくやったと言えるのか。子供が健康に成人することか。年金をもらえるまで、元気に仕事することか。尾崎病院がさらに発展し、職員に鳥取県1番の給料を払えるようになることか。どれもちがう。なにを目指しているのか。やはり、すべての人が安心して人生の後半をその人らしく送ること支援することだ。とても一生懸命 70 歳、80 歳まで社会のため、家族のため頑張ってきて、そこで病気になり、自分だけでは生活が送れない状況になった場合、そこに待っているのが、やさしさも尊厳もない環境だったらどうだろう。しゃべれなくても、いつも悲しみでいっぱい、食べたくないし、体は小さく、小さくなっていってしまうのは自然かもしれない。私は最高にやさしく、親切で尊厳をもった環境が鳥取市のどこでも整ってほしい。尾崎病院だけでなく。そのためには市中病院、施設と顔の見える関係を持ち、それぞれの何が問題で、入院受け入れ病院、介護受け入れ施設で何が望まれているのかを話し合い、解決し、決して患者、家族に不安がないようにする連携が必要だと思う。また、各病院、各施設でよい取り組みや看護、介護、リハビリの方法を共有できるようになるとより一層お互いが高められるだろう。自分の病院だけが評価されればそれでよいのではなく、一人の人が最後までよい人生だったと思えるように連携がとれるようになれば、それが自分のゴールかもしれない。

あっ、もうひとつ。「褥創ゼロ」褥創をしゃべり始めたら止まらない。が、すこし。病気でつらい思いをしていたり、終末期にいる人にさらに追い打ちをかけるように褥創をつくってしまうって・・・どうよ。だんだんヒートアップしていくのでやめます。私の熱い思いは皆につたわっているとおもうから。あーいろいろよく考えた。ビール飲もおっと。



# <30周年記念旅行>



①大阪日帰りコース (6月3日) 参加人数 10人



大阪水上バスで船旅気分を味わってます♪



帝国ホテル大阪での優雅なランチ

②京都日帰りコース (6月17日) 参加人数 32人



京都老舗割烹「菊乃井」の女将さんと  
玄関前でパチッ!!



おいしゅうございます。満足!満足!

③北海道コース1班 (6月29日~7月1日) 参加人数 12人



小樽運河にて、ハイッ・ポーズ(\*~)v



院長 牡鹿にへ〜んしん!!  
(あれっ!? ひこにゃん??)

④北海道コース2班（7月6日～8日） 参加人数 15人



サッポロビール園にて



旭山動物園 楽しかったなあ～♪

⑤大阪エステコース（9月1日～2日） 参加人数 8人



一度は体験してみたいです・・・  
クルーズでのランチ!!



グリコは永遠に不滅です(笑)

⑥沖縄ダイビングコース（9月7日～9日） 参加人数 13人



青い海、白い雲、これぞ沖縄!!  
ダイブ満喫しましたあ♪



怪しい へび使い現る!  
ところで白へびは生きてます?



⑦東京コース1班 (9月28日~9月30日) 参加人数 10人



どれだけ高いんですか!?  
スカイツリー☆



尾崎病院に 来てくれるかなっ!?  
いいとも~!!

⑧沖縄観光コース (10月5日~7日) 参加人数 24人



沖縄 参加人数2番!  
でもアルコール消費は1番( )v



沖縄といったら一度は行かなきゃ  
美ら海水族館♪



⑨台湾コース (10月12日~14日) 参加人数 13人



故宮博物館にて



台湾でも炭坑節うけてます!!



⑩ソウルコース（10月19日～21日） 参加人数 13人



統一展望台にて



何をしたの？  
まるで映画のワンシーン

⑪東京コース2班（12月7日～9日） 参加人数 13人



ANA 機体工場見学



ガンダム世代の方 必見です!!

全11コース 163人の方が参加されました!!

また何処かに行きたいですね～

# <運動会>



平成 24 年 10 月 25 日、気高町農業者トレーニングセンターで第 2 回尾崎病院大運動会が開催されました。  
あいにくの曇り空でしたが病院職員、家族を含め 180 名を超える参加者で盛大に盛り上がりました。



# 優勝事務部



2 位 介護病棟

3 位 リハビリ



# <忘年会～その他イベント>

クイズや各病棟の出し物など、盛大に盛り上がりました！



まだまだ現役！！



きゃりーぱみゅぱみゅ  
VS 樽美酒ヒロシ

## クイズ大会





# <忘年会>



2012年 尾崎病院いづみ会忘年会にて毎年発表されるオザキ・アワードの授賞式が行われました。

## 粘り強く頑張ったで賞

誌内で詳細紹介 →



**受賞者：**武田（リハビリ）

**コメント：**医師以外で初めて全国紙の本に名前が載り、当院のPRの1つを担った。知名度向上に貢献。



**受賞者：**塩根・塩崎・大森・田中（療養病棟）

**コメント：**全国介護士会にて研究発表。長期にわたり外部の協力者とも連携して学会発表までもっていった。それまで毎日毎日休みも返上して頑張っていました。尾崎病院の金賞！！

## 専門誌に載ったで賞



### 受賞者一覧

賞タイトル	受賞者	評価内容
予想より多かったで賞	通所リハビリ	一か月利用者人数が800人を超えた。
団結力はピカイチで賞	一般病棟	忙しい日々の中、笑いあり、活気あり、いきいきした病棟で団結力はピカイチ。
平均年齢高いですが何か…で賞	外来	患者様が少ない中、健康相談などを地道に行い、患者増に貢献している。
にぎやかだったで賞	にぎやかし隊	よく頑張っている！
足が棒のようで賞	回復期リハ	ナースコール一日200回以上！！
こんなんしてたん、知らなかったで賞	らくだ会	スタッフの為に腰痛防止や患者様の褥瘡・拘縮予防に自主的に勉強会発足。
馬車馬のように働いているで賞	療養病棟	どれだけ頑張っても基準をキープしていることか。決して鼻先に人参ぶら下げてません。
あっちこっちで姿見るよね賞	一般 山田さん	さっきあちらで会ったと思えばすぐこっち。迅速にキビキビ仕事していて気持ちいい！

# <クリスマス会>

2012年12月15日(土)に院内ロビーにてクリスマス会が開催されました。入院患者様や通所利用者様が参加し盛大に行われました。

病院スタッフによるバンド・ハンドベル演奏、園児によるダンス、コーラス隊による合唱などが出し物で行われました。



**オザキ・サンタガールズ**

# 〈研究発表報告〉

平成 24 年 5 月 12 日～13 日

第 61 回日本理学療法学会 北海道立道民活動センター「かでの 2.7」

「簡易姿勢保持装置製作による車椅子シーティング」

リハビリテーション科 福山洋

ウレタンを貼付・カットし本人用の車いす座クッションやバックサポートを製作・使用することで、車いす上での姿勢保持安定や 2 次的障害予防。さらに姿勢が安定したことでの ADL 能力向上がみられた症例報告と製作方法を報告しました。

当院にある車いすのほとんどが標準型で多くの患者が安定した姿勢が保てていません。自己作製により車いすでの座位保持が安定することで、本人のモチベーションや ADL、QOL の向上。2 次的障害や転落の予防も可能だと思えるので、皆に提供できるように努力したいと思います。

平成 24 年 9 月 28 日～29 日

日本介護学会 in 滋賀

「消臭効果のある手浴の検討」～ほうじ茶、木酢液を使用して～

療養病棟 塩根幸子、塩崎康子、大森香、田中美栄

平成 24 年 2 月の尾崎病院研究発表で、発表させていただいた「消臭効果のある手浴の検討」～ほうじ茶、木酢液を使用して～の発表した後の公表と課題をふまえて、多数の方の協力のもと全国版に手直しをしました。興味のある方は療養まで。

初めてホールで 200 名の中、発表をしてきました。発表は緊張しましたが、司会の方と助言者から「実験と追及研究は時間もかかり大変だったと思う。ここまでまとめれてすごいです。」と、ほめていただきました。1 年半頑張ってきたことで、自分たちの自信につながりました。

平成 24 年 9 月 30 日

中国腎不全研究会 広島国際会議場

「知的障害のある透析患者の入室困難の取り組み」

透析センター 櫻井ひとみ、田中裕子、朝倉聡子

患者の高齢化、合併症に伴い様々な障害を持ち透析を受ける患者が増加してきている。透析拒否、入室拒否をすることで、透析治療継続困難となり、曜日変更透析、臨時透析を施行せざるをえなくなる。また、それに伴い患者側の身体的負担も増加する。今回知的障害のある透析患者の入室拒否が多く、透析開始までに時間を要していたが、関わりを持つことで、スムーズに入室が出来るようになったので報告をしました。

発表を終えて、たくさんの方に聞いて頂いて良かったと思います。今後も患者さん、一人一人の関わりを大切に、仕事を考えていきたいと思っています。

## 中国腎不全研究会

### 「長期入院透析患者の在宅復帰を阻む要因からの検討」 療養病棟 山本美香、橋本明美、奥田仁美、岸田敏子、岡本久美子、川本直文

退院支援における看護師と MSW の役割と連携を長期入院となっている 3 事例で検討したことを発表しました。

長期入院透析患者の退院支援は、家族の精神的・身体的負担が大きく、早期からの在宅を意識した関わりが重要です。患者・家族と多く接し、思いを受け止め、家族指導、ケア提供をし、不安感の軽減に努める必要があります。得た情報を MSW と共有し、社会資源を活用することで患者・家族の希望する在宅復帰に繋がるということを発表しました。

初めてで、想像できないまま会場へ行き、ポスター発表するだけが精一杯でした。他の病院の発表を見る余裕がありませんでしたが、研究メンバーに色々助けてもらい良い経験が出来たと思います。

## 中国腎不全研究会

### 「外来透析送迎困難患者への取り組み」

リハビリテーション科 岡学、福山洋

車椅子座位が不安定であり、送迎中の車内および送迎待ち中に車椅子から転落する危険性のある患者さんに対して車椅子シーティング(クッション製作・介護保険での福祉用具レンタル)を行いました。その結果、姿勢に改善がみられたので今回の研究会にてポスター発表してきました。

腎不全研究会ということもあり、発表職種はほとんどが医師・看護師でした。しかし、透析が特色である当院にとって、リハビリテーション科としても研究し、学んでいかななくてはならない分野ではないかなと思いました。

## 中国腎不全研究会

### 「透析室における背抜き・足抜きの取り組み」

透析センター 小谷綾乃、池田陽子、福山洋、朝倉聡子

透析中ベッドの上でじっとしている事に苦痛だと感じる患者へ、仙骨部へ体圧計を使用し、1時間毎に背抜き・足抜きを実施して、前後の圧を比較・検証した結果、体圧上昇する、しないに関わらず、苦痛を感じている患者は、背抜き・足抜きにより、苦痛が緩和されており、タッチング効果がある事が分かりました。

発表するまでは全く緊張しなかったのに、いざ前に立つとすごく緊張して発表はあっという間でした。でも、たくさんの方々に協力して頂いた研究を色んな方に聞いて、見てもらい発表できた事はとてもいい経験になりました。ありがとうございました。